



# 園長だより

No.26 R5.11.13 (Mon)

発表会へのご参観、ありがとうございます!!

舞台上ではにかんだ表情・嬉しくて嬉しくてたまらない満面の笑顔、張り裂けんばかりの緊張でちんこちんになってしまったり立ちすくんでしまったり...

最後の挨拶でもお話しさせて頂きましたが、どんな姿も「今」の我が子の成長です!

実は私... 総練習の時に嗚咽してしまっただけです... 衣装を身にすれば入園したばかりの頃、全身全霊で泣き叫んでいた事や、進級したばかりで登園を渋り、さくら組・ふじ組でも涙々の日々だったり...

お母様から離れられなかったり... そんなこんな風景が走馬灯の様には押し寄せ... 舞台上で踊る姿が愛らしくて愛おしくて、気づけば涙が溢れていました。私ですら、こんなに感動するのに、我が子としてこの姿を月にされる保護者の皆様は、どれだけの喜びなんだろうと、「今」を我が子と過ごされている保護者の皆様がとっても羨しくなりました。

舞台袖では、どの先生も月に涙をいっぽう溜めて、ウルウルしていました。自分のクラスの子は、担任にとっても「我が子」です。成長が、勇姿が、嬉しいんですよ! 誇らしいんですよ!!

ちよびり、余談なんですが...

自由参観②の時に、あるクラスで、なかなか遊戯室の舞台に足が向かなかつたので私と一緒にという条件でなんとか舞台上に立てたA君。でも、動く事(演技する事)は出来ず、途中舞台からお母さんの存在を嬉しそうに確認はするものの私の傍から離れられずでした。

参観終了後、私の元に来て下さったA君のお母様が「どう声を掛ければいいでしょうか」と問い掛けて下さいました。私は迷わず「A君、立派でしたぬ! 恥しさを緊張やお母さんへの想いを小さいVをいっぽうにして舞台上に立てたんですよ。泣きませんでか! A君の精いっぱい頑張ったと思います! 『頑張ったぬ』と、心からの言葉のプレゼントをしてあげて下さいぬ」とお話しさせて頂きました。お母様も「その通りですぬ〜」と少し涙ぐまれて帰っていかれました。

園長だより No.24 にも掲載させて頂きましたが、結果ではなく過程なんです。A君がどれだけの想い、フレッシュな胸に舞台上に立てたか、それは賞賛以外になんとも思いません。ここで、この頑張りを近い人(お父様やお母様)に認めて貰えるか否かで、今後の人生における自己肯定感に大きく左右され、困難に突き当たった時、自力で一步踏み出せるかに繋がっていくと思います。